

令和8年度入試用

学校説明会資料

令和7年10月8日（水） 実施



聖母の騎士高等学校

〒850-0012

長崎市本河内2丁目2番2号

TEL(095)823-4523

FAX(095)823-4759

<https://www.seibonokishi.ed.jp>

平和の祈り

神よ わたしを
あなたの平和のために用いて下さい
憎しみのあるところに愛を
争いのあるところに和解を
分裂のあるところに一致を
疑いのあるところに真実を
誤りのあるところに真理を
絶望のあるところに希望を
悲しみのあるところによろこびを
暗闇のあるところに光を
もたらすことができますように
助け導いて下さい
神よ わたしに
慰められることよりも慰めることを
理解されることよりも理解することを
愛されることよりも愛することを
望ませて下さい
私たちは与えることによって与えられ
すすんでゆるすことによってゆるされ
人のために死ぬことによって
永遠に生きることができるからです

学園訓

人は神の^{にすがた}似姿である
故に人の尊厳を保ち
神以外の何者^{おそ}も怖るな

大自然に学び愛せよ
^{しか}而して創造主^{しゅ}に近づけ

自己^{ほうき}放棄と祈り^{わす}を忘るな
而して真の知恵を求めよ

真の愛を保て
而して他者^{おの}に己が心を開け

若き日に規律と礼儀を身につけよ

秩序の中に和あり
故に秩序を学べ

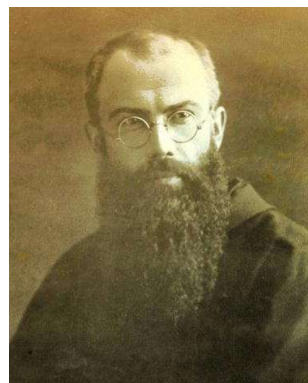
すべてに善を行って
^あ倦くことを知るな

コンベンツアル聖フランシスコ修道会創立者
アッシジの聖フランシスコ
1181または1182～1226



神の限りないいつくしみを深く体験し
感謝と謙虚さのうちに
世界のすべてのものを神の子どもとして大切に
神のあたたかなところと平和を分かち合いました

聖母の騎士高等学校の前身の創立者
聖マキシミリアノ・コルベ
1894～1941



コンベンツアル聖フランシスコ修道会会員であり
神と聖母マリアのあたたかなところを伝え続け
アウシュヴィッツ強制収容所にて
一人の父親の身代わりとして
餓死刑で亡くなりました

校名・校章の由来



校名は、聖コルベの創設した「けがれなき
聖母の騎士」という運動に由来します。

校章のSMIは本校の前身である「けがれなき
聖母の騎士神学校」のラテン語 Seminarium
Militiae Immaculataeの頭文字です。

デザインの鳩は本校のモットーである「和と
善」の和を現わしています。

目 次

〔1〕 沿革

（1）学園の沿革	1
（2）設立母体	2
（3）建学の精神	2

〔2〕 教育方針

（1）教育目標	3
（2）本校の特色	3

〔3〕 教育内容及び教育課程

（1）教育内容	4
（2）教育課程	7

〔4〕 生徒の状況

（1）出身中学校別生徒数	8
（2）近年の進路状況	9

〔5〕 奨学金等の紹介

（1）高校から奨学金を受ける場合	10
（2）緊急採用の場合	10
（3）交通遺児等奨学生の場合	10
（4）補助金	11
（5）入学時特待生制度	11
（6）校内特待生制度	11
（7）兄弟同時在籍の特典	11
（8）同窓会奨学金	11

〔6〕 経費	12
--------	----

〔 1 〕 沿革

（ 1 ）学園の沿革

- 1930年 4 月 ポーランド人宣教師マキシミリアノ・コルベ神父がゼノ修道士らと共に
長崎に上陸し大浦に最初の足跡を印す
- 1931年 5 月 現在地の本河内に移転し聖母の騎士修道院・教会・印刷所を設立
- 1936年 4 月 カトリック司祭養成を目的にけがれなき聖母の騎士神学校を設置
- 1946年 3 月 財団法人聖母の騎士学園設立認可
- 1949年 4 月 聖母の騎士高等学校設置認可
- 1951年 3 月 法人組織を「学校法人聖母の騎士学園」に変更
- 1962年 9 月 鉄筋 3 階建新校舎（ 1 号館）竣工
- 1967年 6 月 鉄筋 3 階建新校舎（ 2 号館）竣工
- 1968年 4 月 制度を普通校に変更し一般からの生徒募集を開始
- 1979年 7 月 別館竣工
- 1980年 11 月 2 号館に 3 教室増築完成
- 1981年 2 月 教皇聖ヨハネ・パウロ2世は歴代教皇のうち初来日した折
コルベ神父ゆかりのここ聖母の騎士を訪問され深い感銘と教訓を与える
- 1982年 4 月 1979年「ノーベル平和賞」を授与されたマザー・テレサ(コルタカの聖テレサ)
来訪
- 〃 10 月 本校創立者コルベ神父、列聖され「聖人」となる
- 1985年 4 月 テニスコート完成
- 1986年 1 月 体育館竣工
- 〃 8 月 「聖コルベ記念館」および「聖コルベ志願院」落成
- 2003年 1 月 情報教室新設
- 〃 3 月 全教室エアコン完備
- 2021年 8 月 全生徒に学習用パソコンを一人一台配布
- 〃 11 月 全教室電子黒板設置



第264代ローマ教皇
聖ヨハネ・パウロⅡ世
(1920～2005)



マザー・テレサ
(コルタカの聖テレサ)
(1910～1997)

※いずれもgoogle画像より

（２）設立母体

本校の設立母体は、宗教法人コンベンツアル聖フランシスコ修道会で、総本部はイタリアのローマにあります。創立者は、イタリアのアッシジに生まれた聖フランシスコ（1181または1182～1226）です。

彼は、裕福な商業の家に生まれ、若い頃は騎士になることを夢描きました。しかし、神によって、それとは異なるものに惹かれていきました。そして、不治の病として恐れていた病人たちを、神の導きのもとに受け入れることができました。神が人の弱さを受けとめながらあたたかなこころに変えてくださることを体験しました。

聖フランシスコは、神の限りないいつくしみに触れたことにより、感謝と謙虚さのうちに、深い意味での平和、和解をすべてのものと分かち合い続けました。生き物や植物はもちろん、太陽、月、星、風、水、火、大地など世界のすべてのものを神の子どもとして兄弟姉妹と呼び、敬意を抱きました。キリスト教国と敵対関係にあったイスラムの支配者とも友情関係を抱きました。

聖フランシスコの創立した修道会は現在、全大陸、約70か国で活動しています。修道会の主な活動は、教会での奉仕のほか、キリスト教徒の少ない地域での宣教活動や、困難に直面している人々への支援も行っています。日本では、教会での奉仕、幼稚園から高等学校までの学校教育、出版事業、高齢者施設、児童養護施設に携わっています。

日本に初めてこの修道会をもたらしたのは、聖マキシミアノ・コルベ神父（1894～1941）です。聖コルベは、神と聖母マリアのあたたかなこころを伝え続けました。1930年4月に、ポーランドから来日し、長崎で6年間宣教活動を行いました。

聖コルベは、本校の前身を創立した後、祖国ポーランドへ帰国しました。第二次世界大戦のさなか、熱心な宣教活動を良く思わないナチスに逮捕され、アウシュヴィッツ強制収容所に送られました。ある時、収容所から脱走者が生じました。見せしめとして10人の死刑囚が選ばれ、そのうちの一人の若い囚人が「子どもたちや妻に会いたい」と嘆きました。それを聞いた聖コルベは、身代わりを申し出ました。こうして、地下牢で餓死刑を受け、他の9人をやさしい言葉、祈り、聖歌で励ましなが、47歳で生涯を終えました。

1982年、聖コルベの生き方の素晴らしさが高く評価され、教皇聖ヨハネ・パウロ2世によって、「愛の殉教者」と呼ばれ、信仰の模範である「聖人」として認められました。

（３）建学の精神

「和と善」は、アッシジの聖フランシスコの生きたキリスト教的精神を表現しています。聖フランシスコは、神が人の弱さを超えていつくしみ深いかたであることを体験しました。そのあたたかさに生かされる中で、深い意味での「和」を抱き、その和を分かち合おうとしました。

聖フランシスコは、この神のことを「善い」方と表現しました。この「善い」という言葉を「こころやさしい」という意味で用いていました。そして、すべての「善い」ものは神からの賜物であり、分かち合うべきものと考えました。

聖コルベは、このような修道会のあたたかな精神を、いのちをささげて証ししました。

〔２〕教育方針

（１）教育目標

本校の教育は、カトリック教会の教えと教育基本法に基づき、聖フランシスコと聖コルベ神父の生き方を模範とし、今でも世界中の教会で親しまれ愛されている「平和の祈り」と、本校「学園訓」を指標としながら、人格の形成を目指しています。

人間の尊厳を保ち、精神的、肉体的諸能力を高め、移りゆく社会にあって万古不変の真理を追求し、また真の知恵に基づいた判断力と行動力をもった人間の育成を目標としています。

本学園に学ぶ者が、善を求め、平和を愛し、秩序ある生活をとおして心身を鍛練し、若き生命の喜びに輝く者として成長することを希求します。

（２）本校の特色

①自由な雰囲気、家庭的温かさ、明るさ

小規模校であるため、生徒間はもとより教師と生徒のコミュニケーションも密であり、伝統である家庭的な温かい雰囲気が保たれ、調和の取れた人格の形成に最適な環境です。

②宗教的バックボーン

2000年の歴史を持つローマ・カトリックが本校のバックボーンです。祈りに始まり祈りに終わる習慣が大切にされており、目にみえない神への畏敬の念を忘れない謙虚な姿勢を持った、情操豊かな人間性の育成に尽力しています。

③個性を生かした少人数教育

個々の能力や進路希望に応じて、教育課程の中に習熟度別授業を取り入れ、得意な科目はさらに学力を伸長し、不得意な科目は基礎知識をしっかりと身につけさせることに効果を上げています。

④心の騎士（Knights）を育てる教育

男子校である本校は、高校生時代を、真の友人づくりの時期としてとらえています。また校名からは騎士道につらぬかれた忠誠心（ロイヤリティ）と奉仕の心を身に付け、創立者が身を持って示してくれた無償の愛をもって、価値観が多様化した現代を強く生き抜く勇氣と謙虚さを学びます。

⑤^{オムニス} **omnis** 共同担任制

生徒の能力を最大限に引き出すため、2023年4月から「共同担任制」を取り入れ、多角的にきめ細やかな指導を行っています。ホームルームは各学級で行いますが、日々の掃除や行事は全学年が縦割りのグループに分かれて行います。上級生・下級生とのつながりや各グループのチューター（担当教員）との関係の中で、個性や能力を高めることができます。

〔 3 〕 教育内容及び教育課程

（ 1 ） 教育内容

日課表

	時 間
朝の読書 S H R	8:25～ 8:40
1	8:40～ 9:30
2	9:40～10:30
3	10:40～11:30
4	11:40～12:30
昼 休 み	12:30～13:05
5	13:10～14:00
6	14:10～15:00
7	15:10～16:00
掃 除	16:00～16:10
S H R	16:10～16:20
部 活 動	～18:15

○ 通常の下校時間は午後 4 時 3 0 分。ただし部活動
をしている生徒の完全下校は午後 6 時30分。

○ 第 1 ・ 3 ・ 5 土曜日は午前中授業。

第 2 ・ 4 土曜日は休校。

①「大学共通テスト対策コース」（ 1 年生対象）

国公立大学を目標とし 5 教科 7 科目を中心に総合的な学力を身につけ、学習面におけるリーダー的な生徒を育成します。また 2 年生からの「国公立大学進学コース」と連係しスムーズな移行を図ります。入試得点および習熟度別クラス分けテストにより選考します。

②「国公立大学進学コース」（ 2 ・ 3 年生）

国公立大学および難関私立大学への進学を目指します。 1 年生の「大学共通テスト対策コース」で基礎学力を身に付けたのちに、 2 年生からこのコースに入ります。大学進学に応じたカリキュラムを編成し、授業はもとより放課後補習や夏期・冬期補習においても、徹底した少人数のもとで更なる学力の向上を図ります。進路目標が達成できるように職員全員でサポートします。

③習熟度別授業

個々人の学力に応じて、国語・数学・英語の 3 教科を S ・ A 2 つの習熟度別クラスに分け、わかる授業、学力を最大限に伸ばす授業を行います。なおクラス分けテストは、入学式の翌日に国語・数学・英語の 3 教科を実施し、各学期ごとに習熟度別クラスの入れ替えを行います。

④定期考査

中間テスト 年 2 回（ 5 月 ・ 9 月）

期末テスト 年 3 回（ 7 月 ・ 1 2 月 ・ 2 月）

⑤補習（国公立大学進学コースの生徒対象）

1年	夏期補習	3教科で午前中補習(8/1～8/6)
	春期補習	3教科で午前中補習(3/21～3/30)
2年	夏期補習	5教科から希望科目を選択(8/1～8/6)
	春期補習	5教科から希望科目を選択(3/21～3/30)
3年	夏期補習	5教科から希望科目を選択(午後からも行われる 8/1～8/6)
	冬期補習	大学共通テスト対策のために実施
※国公立大学進学コースの生徒は上記以外に、平常補習の時間延長や特別補習が実施される。また3年生は2月に個別学力試験のための特別授業を行う。		

補習費用はすべて無料です。ただし教科・科目によってはテキスト代が必要になります。

⑥対外模試（令和6年度実施分）

1年	進研模試	7月, 11月, 1月
	小論文テスト	6月, 11月
2年	進研模試	7月, 11月, 1月, 2月
	小論文テスト	6月, 11月
3年	進研模試	4月, 6月, 7月, 9月, 10月, 11月
	小論文テスト	6月
	他の模試	北予備(12月ファイル)

⑦実用英語技能検定（STEP英検）

卒業までに2級・準2級合格を目指し、年間に3回団体受検をしています。
合格に向けて、面接等を含めた事前指導を行っています。

⑧日本漢字能力検定（漢検）

国語の基礎である漢字を身につけるため、年間2～3回実施しています。補習を利用して過去の問題の演習などの対策を行っています。

⑨海外語学研修（隔年度実施）

一定数の参加希望により、実施します。研修地はこれまでオーストラリアでしたが、今後については未定です。国際感覚を養い、貴重な経験を得ることができます。

⑩修学旅行（隔年度実施）

令和7年3月に1・2年生合同で岡山・広島両県に行き、安芸の宮島や平和公園などのほか、カトリック幟町教会 世界平和記念聖堂でのお祈りやホロコースト記念館の見学といった本校らしい体験となりました。目的地・行程などは、生徒が企画・プレゼンテーションをし、決定しました。費用は8万5千円程度を予定し、毎月の積立納入となります。

⑪学園ミサ

本校はミッションスクールなので、教育活動の中の儀式的行事として年に5回程、学園ミサを行っています。カトリック信者でない生徒であっても、ミサは大切な学園行事の一つなので、厳粛な態度で参加しています。

⑫宗教劇について(隔年度実施)

隔年ごとに学校行事として宗教劇の公演を行っています。

キャストやスタッフは全学年より希望者を募ります。

令和6年11月19日にチトセピアホールで「聖コルベ愛の殉教」を上演しました。

⑬学園祭「ナイツフェスティバル」(隔年度実施)

生徒会が企画立案し学校全体で取り組んでいます。育友会、同窓会、自治会の協力を得ながら、様々なアトラクションを行い、広く一般の方々に学校を公開する機会としています。令和7年度は9月に実施しました。

⑭Sports & Barbecue day

11月初旬に行います。午前中は体育館で選手権大会(スポーツ大会)、午後はバーベキューを校舎前の駐車場で行います。おもいきり体を動かし、お腹も減ったところで、美味しいお肉が食べ放題です。クラスの団結はもとより、学年を越えた家族的な和気あいあいとした雰囲気が育まれる行事です。

⑮部活動

本校では次のクラブがあり、それぞれに活躍しています。

運動部……総合スポーツ同好会

文化部……総合文化同好会

⑯朝の読書

平成25年度から朝のホームルーム時に10分程度、読書を行っています。

読書に親しみ、読書する習慣を身に付け、心を落ちつけて1日をスタートすることを目的としています。

⑰昼食について

専門の栄養士・調理師によるバランスのとれた温かい食事を、給食として週3回(月・水・金)実施します。1食分400円で給食費として月額単位で徴収します。

なお他の曜日は、当日午前8時30分までに代金を添えて事務室にて食券を購入できます。また自販機で飲み物も販売しています。

⑱お祈り

朝礼時に「主の祈り」、終礼時に「アヴェ・マリアの祈り」を唱え、学校生活は祈りに始まり祈りで終わります。

(2) 過去3年間の進路状況

1. 令和6年度の合格状況（11名卒業）

国公立大学（3）		
広島大学	1	鹿児島大学 1 長崎県立大学 1
私立大学（6）		
長崎純心大学	3	長崎総合科学大学 1 ZEN大学 1
専修・各種（3）	就職（0）	その他（1）

2. 令和5年度の合格状況（9名卒業）

国公立大学（1）		
長崎県立大学	1	
私立大学（3）		
長崎総合科学大学	2	鎮西学院大学 1
専修・各種（2）	就職（3）	その他（0）

3. 令和4年度の合格状況（6名卒業）

私立大学（5）		
帝京平成大学	1	福岡国際医療福祉大学 1 長崎純心大学 3
専修・各種（3）	就職（0）	その他（1）

※（ ）の数字は総数、○数字は過年度卒

※上智大学のカトリック高等学校対象特別入学試験、その他約40大学の特別推薦校に指定されています。

〔５〕奨学金等の紹介

（１）高校入学後から奨学金を受ける場合

種 別	支給月額	備 考
長崎県育英会	月額１・２・３万円を出願者が選択	無利息 所定の期間内に年賦・半年賦・月賦または月賦と半年賦併用で返還
長崎市奨学金	月額 10,000円	無利息 所定の期間内に返還、重複貸与可能
松藤奨学育成基金	自宅通学 31,000円 自宅外 36,000円	無利息 他の奨学金との併願・併給可 所定の期間に月賦・３ヶ月月賦・半年

（２）緊急採用の場合

種 別	支給月額	備 考
長崎県育英会	月額１・２・３万円を出願者が選択	所定の期間内に年賦・半年賦・月賦または月賦と半年賦併用で返還
長崎ロータリークラブ	原則として校納金と通学費	返還不要だが、次年度に公的な奨学金を受けること

（３）交通遺児等奨学生の場合

種 別	支給月額	備 考
長崎県育英会 交通遺児奨学事業	月額１・２・３万円を出願者が選択	所定の期間内に年賦・半年賦・月賦または月賦と半年賦併用で返還
交通遺児育英会	月額２・３・４万円を出願者が選択 入学一時金有り	無利息 所定の期間内に年賦・半年賦・月賦で返還
あしなが育英会	月額 50,000円 (貸与3万円・給付2万円)	無利息 病気、災害等により保護者を失った遺児 所定の期間内に返還
公益信託アフラック がん遺児奨学基金	月額 20,000円	がんにより生計維持者を失った遺児 原則として返還不要
松藤奨学育成基金	自宅通学 31,000円 自宅外 36,000円	貸与金の半額は返還を免除 所定の期間に月賦・３ヶ月月賦・半年賦・年賦などで返還

（４）補助金

保護者の所得に応じ、国・県より支援金・補助金の制度があります。詳細は下記のホームページをご参照ください。

「長崎県の私立高校における授業料・校納金に対する負担軽減について」

<https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kanko-kyoiku-bunka/shochuko/jugyoryo/>

※概略

制 度	内 容
A 就学支援金	所得に応じ、毎月9,900円または32,000円が授業料額より減額されます
B 授業料軽減補助	所得に応じ、県が定める額が授業料額より減額されます
C 高等学校等奨学給付金	所得に応じ、年額52,600円～152,000円が支給されます
D 各種奨学金	長崎県育英会・長崎市奨学金など（P10をご参照ください）

授業料月額

－

就学支援金
A

－

授業料軽減補助
B

=

実質保護者負担
授業料月額

（５）入学時特待生制度

一次入試の合格者のうち、成績上位者に対して、下記の奨学金を給付します。

A 特待：入学金全額免除 月額20,000円給付

B 特待：入学金半額免除 月額10,000円給付

（６）校内特待生制度

入学後、学力・品行ともに優秀な生徒に対して、奨学金を給付します。

（７）兄弟同時在籍の特典

兄弟で同時に在籍の場合は、二人目以降の生徒には月額10,000円を奨学金として給付し、入学金を半額免除します。

（８）同窓会奨学金

①経済的な理由より修業困難になった在学生に対して審査の上、給付期間を原則１年間として奨学金を給付します。返還は不要です。

②各種大会（全国大会・九州大会大会出場等）や検定試験への奨励制度があります。

〔 6 〕 経 費

（ 1 ） 月々の経費

授業料	32,000円
給食費	3,780円
修学旅行積立金費	7,000円
計	42,780円

（ 2 ） 年額の経費

実験実習料	11,000円	年2回に分けて徴収（5月・9月）
施設設備費	17,000円	

（ 3 ） I C T 教育経費

学習用パソコン貸与…無料
通信費・アプリ使用料等…月額830円（予定）

【交通アクセス】

